

平成 18 年 11 月 16 日

会 社 名	株式会社 栗本鐵工所
コード番号	5602(東証・大証第一部)
代 表 者	代表取締役社長 横内 誠三
問 合 せ 先	コーポレートセンター 経理ユニット長 小島 真也 TEL (06)6538-7724

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成18年5月19日に公表いたしました平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

- 記 -

1. 平成19年3月期中間(連結)業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月19日発表)	57,000	△ 2,700	△ 1,700
今回修正予想(B)	56,030	△ 3,880	△ 2,820
増減額(B - A)	△ 970	△ 1,180	△ 1,120
増減率(%)	△ 1.7	-	-
前期実績(平成18年3月期中間)	66,188	△ 4,266	△ 2,994

2. 平成19年3月期(連結)業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月19日発表)	156,000	1,600	1,000
今回修正予想(B)	162,000	1,100	2,000
増減額(B - A)	6,000	△ 500	1,000
増減率(%)	3.8	△ 31.3	100.0
前期実績(平成18年3月期)	166,895	△ 1,150	692

3. 修正の理由

(中間期)

売上高につきましては、当中間連結会計期間より連結対象子会社が新たに5社加わったことにより増加した反面、「建築及び建築関連事業」におきまして減少となり当初予想に対しまして970百万円の減収となる見込みであります。

損益面につきましては、「建築及び建築関連事業」におきまして減収に伴う減益、「鋼製構造物・機械関連事業」の鉄構部門、環境部門におきまして鋼材等の原材料高騰の影響により減益となり、当初予想に対しまして経常利益は1,180百万円の減益、中間純利益は1,120百万円の減益となる見込みであります。

(通期)

売上高につきましては、連結対象子会社が新たに5社加わったことで当初予想に対しまして6,000百万円の増収となる見込みであります。

損益面につきましては、経常利益では、「鋼製構造物・機械関連事業」の鉄構部門が低調に推移する見込みであり当初予想に対しまして500百万円の減益となる見込みであります。当期純利益では、遊休資産等の処分を進めていくことで当初予想に対しまして1,000百万円の増益となる見込みであります。

以 上

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。